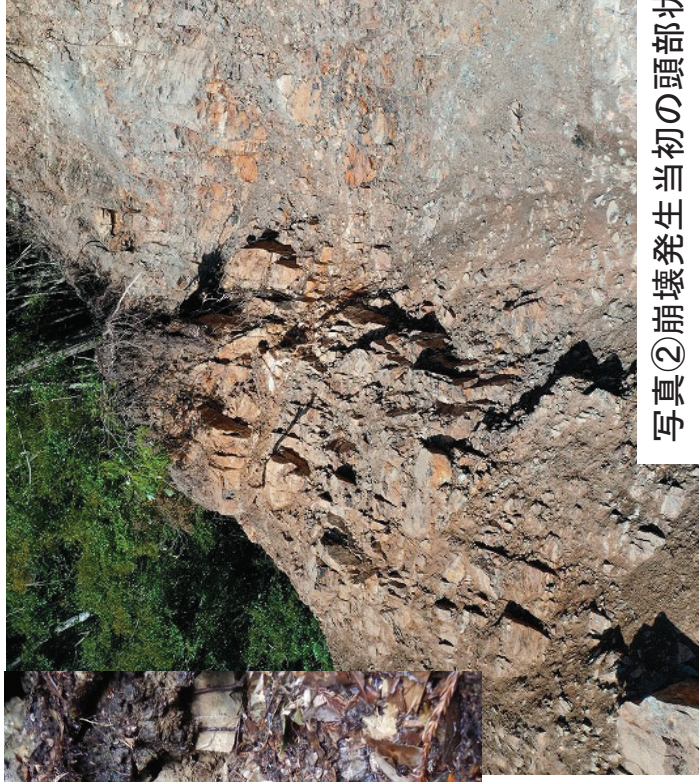


2. 崩壊発生当初の現地状況



写真①崩壊地背後のクラック



写真②崩壊発生当初の頭部状況



写真③ 崩壊発生当初の起点側側方状況



写真④崩壊発生当初の頭部域状況

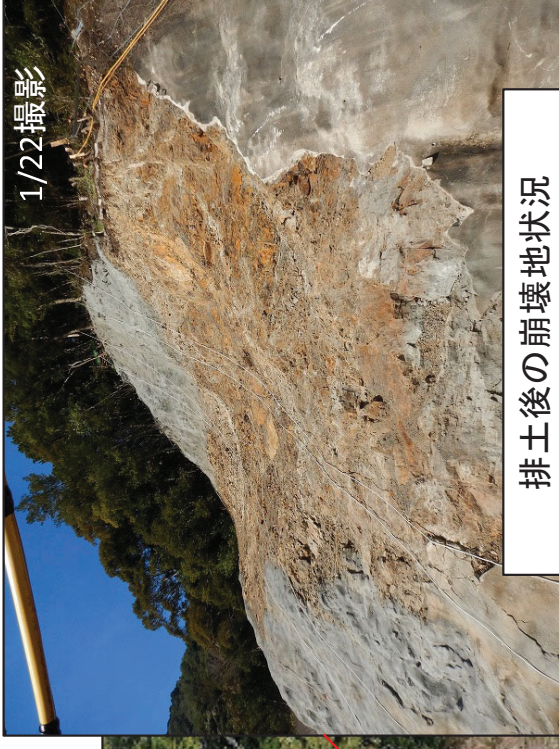
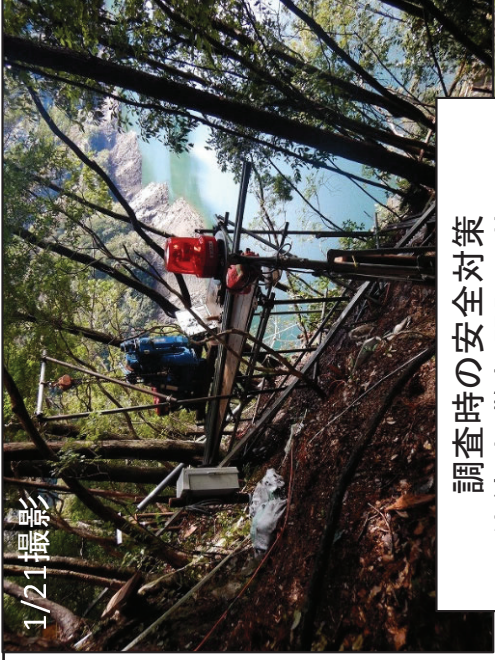


写真⑤崩壊発生当初の頭部終点側状況

2. 2月7日までの対応状況：経緯（発災以降）

月日	工事等状況	現象把握等
12/23	深夜：発災	
12/24	被災者1名救助 崩土除去開始	コンサルタント会社による緊急現地踏査 大西有三京都大学名誉教授による現地状況確認
12/25	崩土除去・法面掘削	緊急斜面調査
12/26	崩土除去・法面掘削	国土技術政策総合研究所、土木研究所による現地状況確認 第1回検討委員会開催
12/27	救助のための崩土除去・法面掘削	斜面監視・斜面調査
12/28	被災者発見（捜索活動終了）	斜面監視・斜面調査
12/29		UAV測量・熱赤外線調査実施
12/30-1/8		概略踏査結果とりまとめ、整理
1/5		小山先生、橋本先生現地視察
1/6～	第2回法面掘削開始 地質調査のモノレール施工開始	
1/9		第2回検討委員会開催
1/9～	斜面の仮吹き作業開始	応急対策工設計（門形防護柵，斜面対策）
1/21～	斜面ボーリング作業開始	応急対策工設計（仮橋案）
1/22～		応急対策工検討（高吸収ネット工）
1/23～	仮橋案ボーリング作業開始	
1/19～23		弾性波試験（現地作業）、20日伸縮計S-1～3及び警報機設置
～1/25	現道の土砂撤去完了	
1/26		掘削成型後の地形測量実施。雨量計・ITVカメラ設置。 データ及び画像の無線配信開始
2/1～	順次仮モルタル吹付工・鉄筋挿入工・高エネルギー吸収柵 施工開始	伸縮計S-4・6設置

2. 1月末の現地状況



排土後の崩壊地状況

高エネルギー吸収柵計画範囲

鉄筋挿入工計画範囲



今後全面仮吹付工を実施し鉄筋挿入工・
高エネルギー吸収柵工の施工を行う計画